

迎春

市報 (平成15年・2003年1月10日)

しあわせのし

No.881

十日町市長年頭のあいさつ
地域新エネルギービジョンの策定
市町村合併の歩み

742
745



年頭のあいさつ

十日町市長 滝沢信一

新年明けましておめでとうございます。

内外ともに大変厳しい環境にありますが、今年も市民の皆様のご生活と福祉が向上するよう全力で取り組んでまいりますので、ご支援・ご協力をお願い申し上げます。

今年も、十日町市にとって大変重要な年、節目の年になります。

まず、現在策定を進めている長期発展計画の後期計画のもとでの市政がスタートします。元氣と活力を求め、市民の皆様とのパートナーシップを基本として、効率的で地方分権時代にふさわしいまちづくりに新たな決意でまい進してまいります。なかでも、雇用の場の確保・増大は、最も重要な課題であります。働きたい、社会に貢献したいという一人ひとりの切実な願いにこたえるため、先頭に立って取り組んでまいります。

次に、今年も合併に向けた協議が本格化する年です。十日町市が誕生してからも50年になりますが、この間、マイカーの普及などによって大きく広がった市民や圏域住民の日常活動範囲と行政区域とが合わなくなっています。財政基盤の強化や行政の効率化を進めることと同様に、国や県の支援をいかして、日常生活・活動圏に行政区域を合致させ、有効な施策を実行していくことが合併の大きな目的であると思っております。合併協議会の場で議論を深め、実りある合併に向けて最大限の努力をいたします。

また、今年も大きな楽しみが二つあります。一つは、第2回大地の芸術祭です。前回は、「ふるさとイベント大賞」といった大きな評価をいただいた反面、批判もございました。今回も世界の約100人のアーティストが参加しますが、さまざまなご意見に耳を傾け、前回より、一層、アーティストと地域住民の皆様がいっしょになって、語り合い、汗を流し、作品を作り出すという協働を進めて、多くの市民の皆様がより楽しめるものになりたいと思っています。十日町市においても、今回は市街地を中心に作品を展開していくことにしています。7月20日から9月10日までの50日間開催されるこの壮大なイベントに皆さんからもぜひ参加していただきたいと思っています。

もう一つは、大地の芸術祭にあわせて十日町ステーション越後妻有交流館が開館します。数多くの議論のうえにようやく完成する建物であればこそ、その運用にあたっては、利用者に潤いを与え、にぎやかで活気のある十日町圏域を代表する施設にしていかなければならないと思っています。

新しい年が市民の皆様にとりまして幸多きことを心からお祈り申し上げます、新春のごあいさつといたします。



制作：福崎礼子 展示：おとぎの国美術館



地域新エネルギービジョンの策定を進めています

石油や天然ガスなど化石燃料に依存した社会は、地球温暖化や資源の枯渇など地球規模の問題を引き起こすことが心配されています。この対策の一つとして、十日町市をはじめ全国の自治体では、化石燃料依存型の産業や交通、暮らしのあり方にいたるまで、地域のエネルギー政策をとらえ直すビジョンづくりを進めています。

◆新エネルギーとは

新エネルギーとは、自然の力を利用したり、今まで捨てられていた資源を有効に使ったりすることで得られる、環境に優しいクリーンなエネルギーです。新エネルギーの活用は、石油や天然ガスなど化石燃料の消費を抑え、二酸化炭素の排出を減らせるなどのメリットがあります。新エネルギーの技術開発は、太陽光発電や風力発電などさまざまな分野で進められています。さらに平成14年1月からは、近年注目されているバイオマス（生物利用）エネルギーや雪氷の冷熱エネルギーも、新エネルギーに指定されました。

◆地域新エネルギービジョンを策定中

「地域新エネルギービジョン」とは、住民・企業・市町村が一体となり、地域全体で新エネルギーを普及促進させるための指針となる「基本的な考え方」です。現在十日町市では、国からの全額補助を受けながら、「地域新エネルギービジョン策定等事業」に取り組んでいます。なお、新潟県内では昨年7月現在、十日町市を含む23の市町村が同ビジョンを既に策定済又は策定中です。

◆十日町市の取り組み

当市では、「緑豊かで、潤いと安らぎのあるまち」の実現に向けて、13年3月に十日町市環境基本計画「エコプラン」を策定しました。以来、国の新エネルギー政策を踏まえながら環境への負荷が少ない社会づくりを推進し、さまざまな事業に取り組んでいます。

昨年7月からは「十日町市地域新エネルギービジョン策定委員会」（委員長：白樫正高 長岡技術科学大学教授）を設置し地域新エネルギービジョンの検討を行っています。

委員会では、昨年8月にアンケート調査を実施したほか、市内で消費されるエネルギー量や潜在する新エネルギー量を調査・推計しました。これらの結果を踏まえ、現在、太陽光（熱）エネルギーと当市に豊富に降り積もる雪の活用を柱に検討を進めています。

今後は、新エネルギーを先駆的に導入するプロジェクトなどについて検討し、3月までに当市で新エネルギーを導入する際の「基本的な考え方」をまとめる予定です。また、将来的にはエネルギー消費量を削減させる省エネルギーの考え方もいっしょに推進し、エネルギー負荷の小さいまちづくりをめざします。

新エネルギーに関するアンケート調査結果

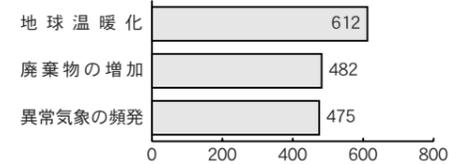
地域新エネルギービジョンの策定に役立てるために、市民及び事業所（工場、事務所、店舗など）の皆さんを対象に、新エネルギーに関するアンケート調査を行いました。調査にご協力をいただき、ありがとうございました。ここに調査結果の一部を紹介します。

市民の皆さんの意識

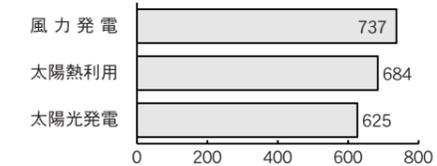
調査票は住民基本台帳から無作為抽出した市民2,000人に配布し、回収数は924（回収率46.2%）でした。

全体としてエネルギーや環境問題への関心は高いものの、技術などについてはまだまだ知らないことが多いという結果になりました。

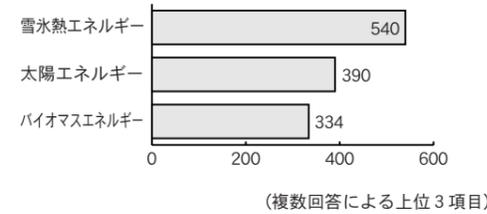
問1. 関心を寄せている環境問題



問2. 新エネルギーに関して知っている技術



問3. 今後十日町市で導入すべき新エネルギー

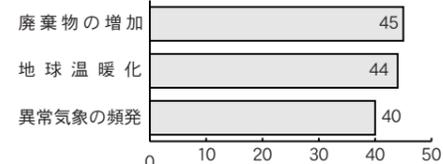


事業所の皆さんの意識

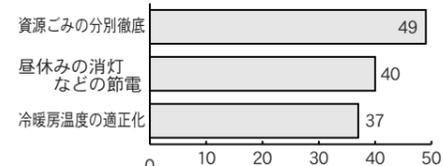
調査票は十日町商工会議所の名簿から抽出した150社に配布し、回収数は71（回収率47.3%）でした。

全体としてエネルギーや環境問題への関心は高く、助成制度などの環境が整えば導入の可能性があるという前向きな結果になりました。

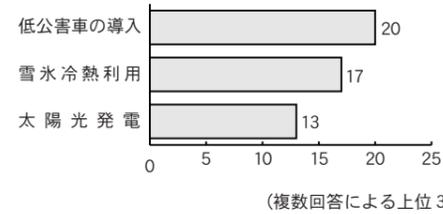
問1. 関心を寄せている環境問題



問2. 現在取り組んでいる対策



問3. 条件が整えば今後導入を検討する新エネルギー



建設課 雪利雪対策室 雪係
TEL 57131111 (内線273)
FAX 5214635

新エネルギービジョンの問合せ

▼製麺工場の雪室
貯蔵室の隣に雪室を設置し、冷熱エネルギーをそば粉や布海苔の保管や夏季の事務室の冷房に活用しています。



▼研修施設の雪室
半地下に雪を貯蔵し、冷熱エネルギーを夏季の室内冷房に使用しています。日本酒や草花などの貯蔵にも利用しています。

▼個人住宅の雪室
落雪式屋根の軒下に雪室を設置し、落下した雪を貯蔵します。溶けた冷水は室内冷房や水洗トイレなどに利用しています。



▼個人住宅のソーラーシステム
国の補助を得て太陽パネルを設置。日照量の多い季節には売電をするほか、冬の間も給湯・水の加温に利用しています。

市内で見られる新エネルギー利用例



まちの話題

T O K A
M A C H I
T O P I C S

このコーナーは、まちの話題や活動などを紹介しています。情報がありましたら、企画人事課広報聴係(☎57-3111内線213)へ、お気軽にお寄せください。

tokamachi topics



地域防災に心新た

1月5日(日)、総合体育館で十日町市消防出初式が行われました。市内の消防団員1,150人のうち、班長以上の180人が参加して、人員・姿勢・服装の点検などを行いました。

市長から、「地域の最大・最強の防災団体の規律ある勇姿を拝見し、心強く、ありがたい。地域防災のため一層精進してほしい」と訓示がありました。参加者は今年1年の防災を誓い、最後に「火の用心」を三唱しました。

市町村合併の歩み

◆将来構想検討委員を募集します

現在、設立準備を進めている「十日町広域圏合併任意協議会」の中に、新市の将来構想を検討・策定する委員会を組織する予定です。つきましては同委員会の委員を公募します。

◆募集人数 2人以内

◆任期 平成15年2月～構想策定終了まで(12月末までに策定予定)

◆応募資格 ①市内在住で1月1日現在満20歳以上の人 ②市で設置するほかの審議会などの委員でない人 ③今後、月1回程度開催する会議に出席できる人

◆応募方法 小論文「私の描くあたらしいまち」(800字程度)を提出※住所、氏名、年齢、職業、電話番号を記載

◆応募締切 2月10日(月) (郵送可、当日消印有効)

◆審査 委員選考審査会で選考

◆結果 全員に通知します

◆応募・問合せ 十日町市合併推進課(〒948-8501千歳町3-3 ☎57-3111内線281)



◆合併任意協議会設立準備会が移転

合併準備を行うため、昨年11月中里村役場内に設置した「十日町広域圏合併任意協議会設立準備会」の事務所が、1月6日(月)に移転しました。具体的な合併準備に向けた、事務や人員の拡張に対応するための移転です。

◆移転先 〒948-0085 市内西寺町(旧織物会館2階)

◆電話・ファックス番号 ☎52-7725 ☎52-7726

第1回十日町広域圏合併任意協議会を開催します

- ◆開催日 = 1月25日(土)
- ◆時間 = 午前9時30分～正午
- ◆会場 = 中里村ユーモール2階
- ◆問合せ = 十日町広域圏合併任意協議会設立準備会

450人のランナーが走り初め

第24回十日町新雪ジョギングマラソン大会が1月2日(木)、十日町中学校発着で開催されました。

新春恒例となったこの大会は、新座地区体育協会の主催により、地域の皆さんが一丸となって運営している大会です。今年も福岡県や広島市など県外からも多数の参加がありました。新雪が降りしきるなか450人のランナーは、思い思いに走り初めを楽しんでいました。



十日町郵便局元旦出発式

恒例の出発式が元旦8時から十日町郵便局で行われました。当日十日町郵便局管内で配達された年賀配達物は501、666通でした。式典で塚原局長は来賓、郵便局長、アルバイト学生など計約60人を前に「4月の郵政公社化を控え、郵政事業として最後の年賀配達となる。元気に年賀状を届けてほしい」とあいさつ。その後、くす玉が割られる中を、配達員が新春の町に出発していきました。



教育長 井口カズ子

新年おめでとう申し上げます。本年もよろしくお願い申し上げます。本年の初めに当たり、越し方を振り返ってみました。教育長拝命以来早くも9か月が経過し、教員時代とは異なった、多様で広範囲な活動と遭遇させていただいております。ふれあいの丘分校開設、米米フォーラム、成人式、大地の芸術祭プレイベント「花狂」、クロアチアチームキャンプ、石彫シンポジウム、生誕地まつり、各種表彰者多数等々です。県内のいろいろな会議の席で、他の皆さんによく声をかけられます。「十日町はいろいろなことをやっていますね。いいですね」と。私もそう思います。行政と市民の皆さんがいっしょになって構築した、皆さんの催事がありました。また、学校においても週五日制完

全実施のなか、教師と児童生徒が燃えに燃えた季節があります。地域と学校が力を合わせて大きな行事を成功裏に導いた場面がありました。十日町は捨てたものではない。こんなにいろいろな場ががんばっている皆さんが居られるとの感を強く持っています。教育長の立場で見れば、教育予算は少ないです。学校の備品が十分に整えられたら、たくさんある施設のメンテナンスが出来たら、情報館の蔵書をもっと増やし、新しく出来たらと思いは限りがありません。しかし、今の財政下では致し方ありません。「米百俵」の精神でと言ったところで足りないものは足りない。そうもいえないと思っております。でも、参加できる皆さんのイベントがあります。人の力が満ちあふれているではないでしょうか。せっかく計画された市や地域の行事に自分を置いてみることで、活力も湧いてきます。将来の十日町市を背負う幼児、青少年の健全育成を目指し、親が、家庭が、地域が今まで以上にかわって来ないでしようか。心を持ちようで変わるなんて行政の場に居る者が語ることはないと言われるかもしれませんが、しかし、心を大事に思っている新年です。



問い合わせ
健康福祉課健康増進係
TEL 57-3111(内線143)

日本一の健康都市をめざして

- 歩けあるけ運動
Utadoor(アウトドア)
- 検診率100%運動
earth(ヘルスチェック)
- 隣近所の声かけ運動
omocurity(オモシティ)
- 乳幼児期から、正しい食事をとる運動
at(アイト)

私たちの健康は私たちの手で

健康づくりは行政と市民の二人三脚

社会全体が高齢化する中で、年を取っても健康でいたいというのは市民みんなの願いです。いつまでも健康に暮らせる寿命「健康寿命」を延ばすための基本は、食生活の改善や運動に励むことなどです。十日町市では市民の健康づくりのために、栄養士や保健師が健康相談や健康教室などを開催しています。その一方で、個人の健康づくりは一人ひとりの実践がともなっており、成果があがるものです。そこで市内でも、行政というように、住民自らが行う健康づ

くりを進めるために、全国組織の食生活改善推進員(ヘルスメイト)が活動を行っています。

「やまな会」は健康づくりのパートナー

「やまな会」は、昭和44年に栄養教室の修了者が、健康づくりの学習を継続したい、学んだことを地域に役立てたいという感謝の気持ちから結成した、十日町市の食生活改善推進員組織です。現在、101人の会員がいます。

やまな会では、「私たちの健康は私たちの手で」をスローガンに、「健全な食生活や生活習慣の定着で生活習慣病の予防」

を目標にして活動しています。

まず、健康づくりについて学んだことを自ら実践し、家族の健康管理をしています。そして、活動の輪を地区に広めています。例えば、保健師とともに生活習慣病予防の調理講習会の開催、隣近所のお茶飲み会での健康情報提供、伝統食のあんぼにスキムミルクを加えた骨粗鬆症予防食の開発、健康フェアなどで生活習慣病予防の宣伝などの活動です。

十日町市では、15年度も養成セミナーの開催を予定しています。ぜひあなたもセミナーを受講し、健康づくりの実践活動に参加してみませんか。
■問合せ Ⅱ やまな会事務局(健康福祉課健康増進係) 57-3111(内線143)

青

春

リ

レ

ー

職場、友人、夢…みんな宝物です

ひろし
水落 洋さん
1981年生
株式会社山津電機勤務

山津電機に勤めて1年8か月が過ぎました。障害を持つ私を徳永専務が「うちで働いてみないか」と誘ってくれたのがきっかけです。皆さんが心配りをしてくれる温かな職場です。仕事では、主に輸出向けとなるプロジェクトのレンズを製造しています。今まで体験したことのない新たな世界に出会えたことがやりがいです。

趣味は車イスバスケットです。昨年1月から長岡のクラブに入り、10人ほどの仲間と月に2〜3回の練習に汗を流しています。スポーツを通じ、相談しあえる仲間がいることが励みにもなっています。

私は高校時代に交通事故で大けがをしました。その時から、あたりまえのことがあたりまえでなくなりました。事故をきっかけに自分でもできるんだという信念と、決して他人のせいにはしないということを中心に誓いました。友人のありがたみも痛感しました。将来は、コンピュータのプログラムまたはバイク関係の開発や部品販売に携わりたいですね。自分で作ったものが好きなものを、努力したいです。20年以内にはかなえたいです。



夢織人

妻有の伝統工芸士

+

阿部茂壽さん(水野町)

先祖、先代が築き上げた十日町紬や明石縮みを何としても後世に残すことが私たちの責務です。産地あつてこそその自分たちです。

でしたが、おかげで3代目も伝統工芸士に認定され活躍しています。仕事が生きていて、今も機織り、織機修理、撚糸など何でもやっています。伝統工芸士の全国大会に7年連続で出席しています。そして、後進の指導に役立っています。

昭和4年生まれの74歳。勇屋織物㈱の2代目。平成元年に十日町紺染色部門の伝統工芸士に認定される。14年に日本伝統工芸士会会長表彰受賞。前(第4代)十日町伝統工芸士会会長。

昭和23年に勤務先をやめて、前年に父が再開した織物製造業の道に入りました。古織機を借りてはじめましたが、家族が13人おり、すべての作業を家内労働でまかなうことができませんでした。最初は作業工程での失敗もありましたが、同じ失敗は2度繰り返さないという信念を持ち続けて、これまでやってきました。仕事量が順調に増え、市街地の工場の2階を借り、紺の準備工程を移しました。35年に会社を設立し、36年には四日町に工場を建設し、本社も移転しました。

従業員は織物全盛時の4分の1ほどになってしまいましたが、社員と一丸となって、十日町織物の伝統を守るために努力をしています。また、伝統を大切にしながら、反物を利用した分野の研究にも取り組んでいます。

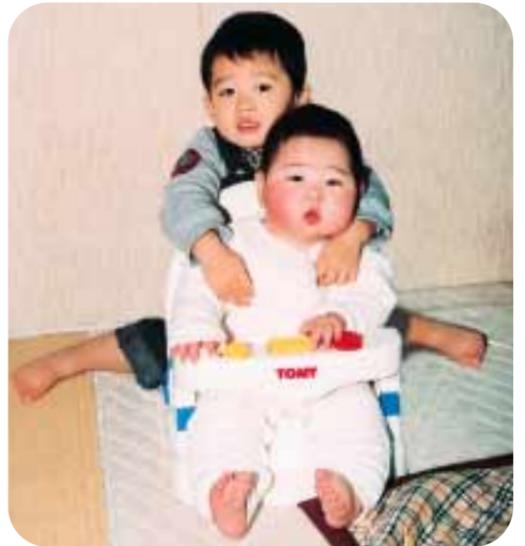
「機屋は3代続いたためしが無い」と親から言われたとおり、苦勞の連続



うしろ SMILING FACE

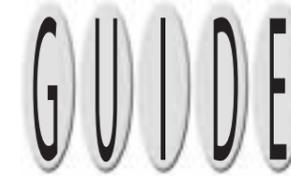
めぐみちゃん

うちのめぐみちゃん募集中です。



なかやまそうたちちゃん 平成12年12月7日生まれ
あゆりちゃん 平成14年6月7日生まれ 加賀糸屋町

消防士さんが大好きで、「きおつけ」の号令をする颯太ちゃん。人なつこく、興味のあるものをつぎつぎに吸収する毎日です。妹の愛友里ちゃんをあやしたり、抱きしめたりと、お兄ちゃんぶりもたっぴりと発揮してくれます。



お知らせ・ガイド
市役所 TEL 57-3111

1月のどんぐり おはなしのへや

読み聞かせ、パネルシアターなどを行います。 ■日時 1月25日(土)午後3時〜 ■会場 情報館 ■問合せ 情報館 (☎50-5100)

在宅福祉ボランティア 活性化講習会

■日時と内容 1回目・2月6日(木)午後1時30分〜4時45分
「総論―有償ボランティア団体について(意義・必要性・有用性)―」
2回目・2月18日(火)午後1時30分〜4時30分
「各論―有償ボランティア団体の設立について―」
■会場 クロス10 ■参加費 無料 ■申込み・問合せ



十日町健康福祉事務所地域福祉課 (☎57-2400)

女性のための健康講話

■日時 1月20日(月)午後1時30分〜2時30分 ■会場 県十日町総合庁舎 ■テーマ 更年期のからだの変化と過ごし方 ■講師 たかき医院高木茂子副院長 ■参加費 無料 ■申込み・問合せ 十日町健康福祉事務所地域保健課 (☎57-2402)

十日町おやこ劇場 新春くらやみ豆まき会

くらやみ豆まき、大型かるた取り、福笑いなどを行います。 ■日時 1月25日(土)午後1時30分〜 ■会場 公民館本館 ■参加費 一人2000円 ■問合せ 水落静子 (☎56-2144)

1Hクッキングヒーター 体験料理教室

■会場 東北電力榎十日町営業所 ■定員 18人 (申込多数の場合抽選) ■申込み・問合せ 東北電力榎十日町営業所 (☎52-3107)

第15回日本動物児童文 学賞作品募集

■応募締切 3月28日(金) ■応募・問合せ 新潟県動物愛護協会十日町支部事務局 (十日町健康福祉事務所衛生環境課内 ☎57-2707)



心の健康相談

■日時・会場・医師 1月28日(火)午後2時〜3時・十日町市保健センター・山下医師 (中条第二病院) 2月4日(火)午後2時〜3時・中里村老人福祉センター・須賀医師 (中条第二病院)

申込み期限 1月22日(水) 【手作りチョコプレート】 ■日時 2月5日(水)午前10時〜午後1時 ■参加費 6000円 ■申込み期限 1月29日(水)

15年度市奨学生募集

■応募資格 平成15年度に高等学校、高等専門学校、専修学校、短期大学、大学に進学予定か在学习中で、次のすべてに該当する人。 ①保護者が十日町市民となつてから3年以上経過している人 ②学業成績が優秀と認められる人 ③経済的な理由で学資の支払いが困難な人 ④心身ともに健全な人 ■奨学金月額 高等学校・10,000円 高等専門学校・10,000円 市内専修学校・15,000円 市外専修学校・20,000円 短期大学・35,000円 大学・35,000円 ■貸与期間 15年4月から、在学する学校の最短卒業年限の終わりまで ■提出書類 ①奨学金貸与願書 (申込先に配置。市ホームページからも入手可) ②在学(卒業)学校長の推薦書 ③成績証明書 ④戸

寄付ありがとう
12月25日届出分まで (敬称略)
■十日町地域福祉基金へ = 庭野由造 (本町6-3・120,000円)
■十日町市へ = 本町クリニック (車イス2台)
■十日町市平和基金へ = 原水爆禁止十日町市協議会 (600,000円)
■情報館へ = 丸山克巳 (南鏡坂) 阿部昌義 (寿町2) 全日本写真連盟十日町支部 生越孝 (長野県) 石沢昇 (神奈川県)
■博物館へ = 雲野和夫 (孕石)
■社会福祉事業へ = 野田スミイ (春日町2・30,000円)
■赤い羽根共同募金へ = 株小嶋屋 (本町4・100,000円)

看護師・理学療法士等 修学資金貸付金

■対象 看護師・理学療法士などの養成学校に学び、卒業後市内でその業務に従事しようとする人で、教育委員会の市奨学金を受けていない人 ■貸与月額 25,000円 ■提出書類 ①貸与申請書 (申込先に配置) ②成績証明書 ③健康診断書 ④保証書 ■申込み・問合せ 2月28日(金)までに健康福祉課保健予防係 (内線141)



事前還付説明会

申告書の書き方などの説明会です。確定申告期間中は相談会場が混み合いますので、この機会をぜひご利用ください。 ■日時 2月3日(月)・4日(火)の午前10時〜正午と午後1時〜3時30分 ■会場 クロス10 ■対象 ①年金受給者 ②サラリーマンで医療費控除を受ける人 ■持参書類 ①②共通・印鑑、ポ



成人式は5月3日です

15年度の成人式を5月3日(憲法記念日) 午前11時からクロス10で行います。市内に住民登録をしている新成人には2月

第2回大地の芸術祭 企画発表会

7月20日、いよいよ開催される第2回大地の芸術祭。準備活動の報告や参加作家・イベント紹介を中心に、芸術祭全体の概要を発表します。また平山県知事を迎え、てい談も行います。入場無料でどなたも参加できますのでぜひお出かけください。 ■日時 2月1日(土)午後6時〜8時 ■会場 クロス10大ホール ■問合せ 十日町地域広域事務組合企画振興課 (☎57-2637)

ゆずります ゆずってください

*消費者協会 (市民生活課生活環境係内線159) へ
*ゆずります受付開始 1月16日(木) 午前9時

ゆずります……			
番号	品名	規格	希望価格
1	ミニ四駆コース (ほとんど未使用)	セット時8畳	無料
2	オルガン		無料
3	スタットレスタイヤ フゴンR (1シーズン使用)	ダンロップ 145R・12	相談で
4	南中女子制服上下 夏スカート付き	サイズM	無料
5	テーブル1台・イス4脚	120cm×75cm	無料
6	ゲーム機		相談で
7	ヤンマー バインダー	1条刈	相談で
8	雪トヨ	3本	無料
9	マラソンシューズ (ソータージャパンワイドサイズ)	2002モデル 27cm 3回使用	5,000円
ゆずってください……			
1	スノーボード一式	男性用	相談で
2	琴		相談で
3	電話機・子機付		3,000円
4	洗濯機	2槽式	無料
5	車いす	3~4台	1台 3,000円位
6	ジュニアシート		無料
7	体育用マット	中古でも可	無料
8	MDラジカセ		相談で
9	スノーボード一式		相談で
10	アルペンスキー一式	160~165cm	相談で
11	洗濯機	全自動	相談で
12	カラーテレビ	14型	相談で
13	石油ストーブ	お湯を沸かせるもの	相談で
14	電話機	留守電機能付	相談で

妻有の宝物 ⑩

市指定史跡/神宮寺境内地及び山林
附：墓地・日本回国供養塔及び塚



市内四日町にある神宮寺は、寺域全体に杉の木立ちがしげり、参道敷石の両側には美しい苔が敷きつめられていて、荘厳な雰囲気を醸し出しています。

寺伝は、本尊の観世音が平安時代の大同2年(807)に来迎し、征夷大将軍坂上田村麻呂を開基として、翌年七堂伽藍が整えられたと伝えます。長い歴史の中で宗派も変わり盛衰を繰り返したことが残された記録や伝承からうかがえますが、広目天像背板裏面銘文から応安3年(1370)時点で「天福山神宮禅寺」だったことが分かり、越後最古の禅宗寺院だった可能性も濃くなっています。さらに、境内の南側に堀と思われる沢、北側には中世城館跡の特徴である郭の遺構もみられて往時の様相をしるべます。また、境内から離れた東南方向にある神宮寺墓所と日本回国供養塔も、古い時代の寺域に含まれるものとして追加指定されました。

現在の境内には、観音堂・山門、稲荷社、十一面堂、神宮寺伽藍などが点在し落ち着いたたたずまいを見せています。(文化財課)

編集後記

◆あけましておめでとございます。元日のすがすがしい天気が一転して、連日の降雪となりました。5日に総合体育館で十日町市消防出初式が行われましたが、外は大雪でした。一昨年の1月4日に発生した震度5弱の地震を思い出し、防災意識を普段から持ち続けることの重要性を再認識しました。

さて、恒例の節季市が始まりました。縁起ものの「チンコロ」をはじめ、雪国の風物詩を楽しみませんか。今年もよろしくお願いいたします。(村)

◆新年あけましておめでとございます。毎年、わが家の前を駆け抜ける新座マラソン参加者の皆さんへと、テレビの中の箱根駅伝へと交互に声援を送ると、年が明けたことを実感します。

今年の箱根は16年振りに、見ていてもつらくなる繰り上げスタートがなかったそうです。市報も1年24回、皆さんによりわかりやすい広報紙として届けられるようがんばります。本年もよろしくお願いいたします。(田)

市民の動き

12月末現在()は前月からの増減

■人	□	43,557人	(△12)
		男	21,319人 (△1)
		女	22,238人 (△11)
■世帯数		13,217世帯	(△3)